



安全対策を進めています

現在、テニスコートのフェンスの修理を進めています。以前からフェンスの支柱の痛みなどが目立ち少しずつ修理をしてもらっていましたが、今回大規模に修理をしていただくことができました。このほか、グラウンド南側の支柱も今年度修理をしています。多額の費用がかかるため、なかなか大規模な修繕ができにくい状況がありますが、子どもたちの安全を第一に今後も必要な箇所の修繕を要望していきます。



通学路についても、御菌町内は細い道が入り組んでおり、改善要望をあげている箇所も多くあります。優先順位などのため少しずつしか改善が進んでいきませんが、改善すべきところなどがありましたら、お住まいの自治区だけでなく学校からも要望していきたいと思っておりますのでお知らせください。また、今年度の事故の中には生徒側の不注意による事故の事例もあります。時間に余裕をもって登校するようにしていただくとともに、細い道から広い道に出るときの安全確認などについてご家庭でもご指導いただけるとありがたいと思っております。

インフルエンザなどの感染症について

現在、市内の小中学校でインフルエンザが流行し、学級閉鎖を行っているところも多数あります。本校では、10月初めに1、2年生が、10月末の文化祭の頃に3年生の流行があり、学級閉鎖も行いました。そのためか今のところ本校では、インフルエンザの流行は限定的となっています。新型コロナウイルスの影響でインフルエンザが見られない時期が長くあり、特に若い年代層で免疫がないようです。新型コロナやインフルエンザだけでなくいろいろな感染症も小さい子どもたちの間で広がっているようです。今後も感染症対策に努めていく必要があると思っております。

今年度、本校では、視聴覚室と会議室にA i r d o gを購入していただきました。視聴覚室では、学年全体が集まる場合などで活用しています。



保護者の皆様へ

個別懇談会へご出席、学校アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果は、まとめ次第お知らせします。

子どもたちの自己肯定感をどう育むか

日本は世界でも子どもたちの自己肯定感が低い国です。今年度の全国学力・学習状況調査では、全国平均や三重県平均より本校の数値は少し良くなっていますが、それでも15.5%の生徒が「自分にはよいところがない」と思っているという現状があります。先日、本校の2年生が取り組んでいるレジリエンス教育を進めている皇學館大学の渡邊賢二教授による講演会があり、その中で語られていたのは、「自己肯定感の低下」と「ソーシャルスキル（人間関係に関する知識と具体的な技術やコツ）の欠如」が不登校やいじめとの関連があるということでした。自己肯定感は、「小学校高学年から低下し始め、中学生、高校生が最も低く、男子より女子の方が低い傾向がある」ということや「ソーシャルスキルが欠如しているために、様々なトラブルが起こる」ということも話されていました。

講演では、自己肯定感を育む日常の取り組みとして、「子どもの話を聞いて肯定してあげる」、「子どもに選択させる」、「子どもに考えてもらう」、「結果でなく、プロセスをほめる」、「他の子どもと比較しない」ということが挙げられていました。確かに本人の意思がない中で何かをやらせようとしても身に付かないということは、これまでもわかっていることではあります。しかし「～しなさい」と命令してしまい、そのことで子どもが親や教師の期待に応えられなかったと自己嫌悪になってしまうことが、きっとあるのではないかと思います。10月のPTA講演会でも講師の神谷和宏先生が同様に、ほめることや認めることが大切であることを話されていました。「結果」はもちろん今後の目標などを考えていく上で大切な指標ではあるけれど、「プロセス」を重視することや兄弟姉妹は言うまでもないですが他の人と比較するのではなく、これまでの自分と今の自分を比較するようにしていくことが必要かと思えます。ご家庭でも指導の参考にいただければと思います。

学力向上推進事業公開研究会を実施しました



児童生徒の学力向上を図るために伊勢市教育委員会の指定を受け、指導方法や技術を向上させようと日々研修を積んでいます。12月5日には、市内各校や教育委員会、県内外の大学から先生方をお招きし、公開研究会を行いました。本校は、「自ら学び、考え、伝え合う教育活動～主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの利活用～」というテーマで取り組みを進めており、参加された方々に授業や研究発表を参観してアドバイスをいただきました。この数年でタブ

レットが普及し授業の形態も昔とは変わってきています。指導技術も日々進化しています。本校の教員もよりよい指導方法を研究し、子どもたちの学力向上につなげられるように今後も研修を深めていきます。ご理解のほどよろしくお願いします。